

# 倉吉整備局

# 孔子と孟子の銅像建設

## 台座など 中国庭園近くに 近く工事

県倉吉地方県土整備局は、東郷湖羽合臨海公園広域公園の東伯郡東郷町引地地内に中国の思想家、孔子と孟子の銅像を建設する計画で準備を進めているが、これに関連して基礎工事・台座工事を12日に入札する。県土木格付けC級業者の10社指名で、工期は115日間。

場所は、中国庭園の西側にある集粹館の石張りの中庭。集粹館から中庭へ出たすぐの所に、孔子像と孟子像の2体を並べて建設する。基礎碎石の上の均しコンクリートは2.5坪角。台座は1・10坪

盛り上げる名所が増えることになる。

### 新町構想を検討

### フォーラム開く

### 東伯西部合併協

東伯郡東伯町と赤碕町の東伯西部合併協議会は、新町のまちづくり構想、計画策定に伴い、住民の意見を取り入れるため、とうはく・あかさき新町まちづくりフォーラムを東伯町のまなびタウンと

両町から住民約300人が参加。まず、多目的ホールに全員が集まり、合併協議会の設立から平成16年9月1日の正式合併までのスケジュール、これ

までの取組状況などを聞いた。新町のまちづくり構想は、合併後おむね10年間を目標にしたもので、まちづくり検討委員会が5分野に分かれてまとめた構想案をそれぞれの委員長が基調提起。そのあ

た。分科会は、①未来をひらく産業のまち（産業）②自然と共に生きる環境のまち（都市計画・環境）③健やかで思いやりのあるまち（福祉・人権）④誇り高く心豊かな人を育むまち（教育・文化）⑤住民が参画してつくる活



力のあるまち（住民参画）。研修室（東）で行われた第2分科会（自然と共生する環境のまち）には、約30人が参加。東伯・中山道路のアク

と5分科会に分かれて、構想案について意見、提言した。セス道路の整備、南北・東西の幹線道路の整備、巡回バス（100円バス）の普及促進などさまざまな意見が出た。この日の意見を取りまとめ11日のまちづくり検討委員会で検討、さらに専門部会等で検討を重ね、県と協議し11月ごろに構想をまとめた、としている。